

転出者・転入者への アンケート調査結果

平成 29 年 3 月

宇 治 市

目 次

・ アンケート調査の概要	1
1 . 調査の目的	1
2 . 調査の方法等	1
3 . 回収結果	1
・ 転入アンケート結果	2
1 . 回答者の属性	2
2 . 調査結果	4
・ 転出アンケート結果	11
1 . 回答者の属性	11
2 . 調査結果	14
・ まとめ	26
1 . アンケート調査結果の分析	26
2 . 今後の地方創生施策の推進について	27
・ 転入アンケート（自由記述）	29
・ 転出アンケート（自由記述）	34
・ 参考 転入アンケート調査表	
転出アンケート調査表	

アンケート調査の概要

1. 調査の目的

本市では平成27年12月に宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、人口減少及び少子高齢社会への迅速かつ的確な対応と、本市の特色を活かした施策実施により、持続的に発展するまちを目指すこととしている。

この調査は、本総合戦略をもとに様々な施策の実施を図っていくとともに、今後の市政運営やまちづくりに活用するため、市外への転出者及び市外からの転入者の転出入のきっかけ等を把握し、人口流入促進・人口流出抑制に寄与する取組を検討するためアンケートを実施した。

2. 調査の方法等

18歳以上の平成26年度及び平成27年度中の転入者・転出者それぞれ2,000名(無作為に抽出)を対象に、郵送によるアンケート調査を実施。また、市民課の窓口においても転入者・転出者に対してアンケート調査を実施。

	郵送	窓口
調査対象	平成26年度及び平成27年度中の転入者・転出者	市民課の窓口において転入・転出届を提出する方
調査の実施方法	郵送により配付、回収	市民課窓口で調査票を配付、回収
調査の実施期間	平成28年11月8日 郵送 平成28年11月30日 締切	平成28年11月8日 から 平成28年12月9日 まで

- 調査内容 -

- 共通質問事項・・・性別、年齢、仕事、家族構成、転入前後の住まい 等
- 転入アンケート・・・本市のまちづくりに対して、期待している事
- 転出アンケート・・・宇治市で生活していて良かった点、不満な点

3. 回収結果

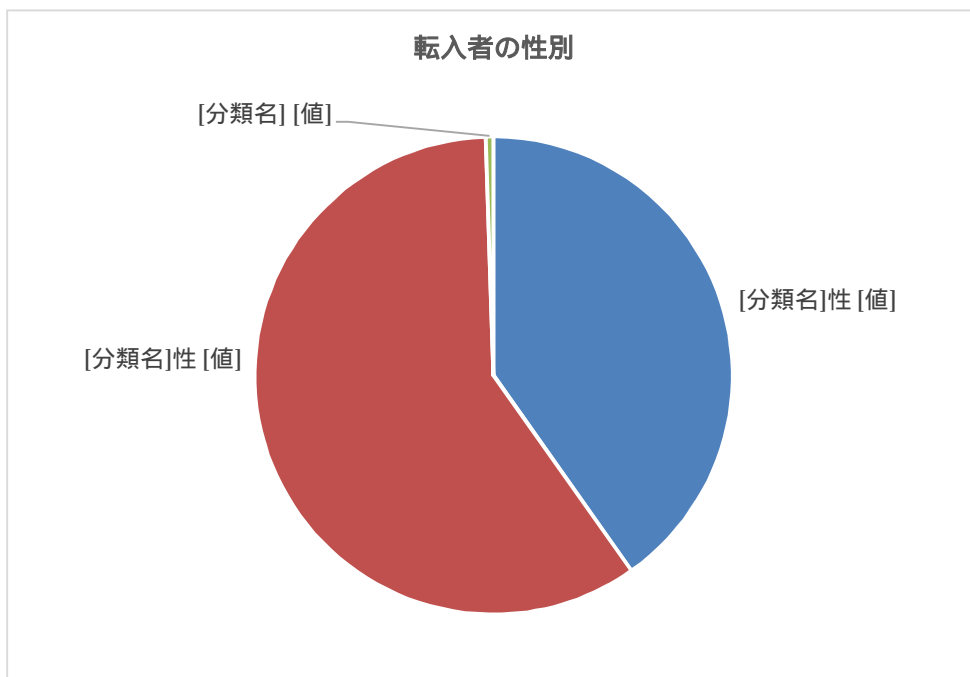
	郵送			窓口	合計
	発送	回収	回収率		
転入者	2,000名	679名	34.0%	92名	771名
転出者	2,000名	627名	31.4%	106名	733名
合計	4,000名	1,306名	32.7%	198名	1,504名

転入アンケート結果

1. 回答者の属性

(1) 回答者の性別

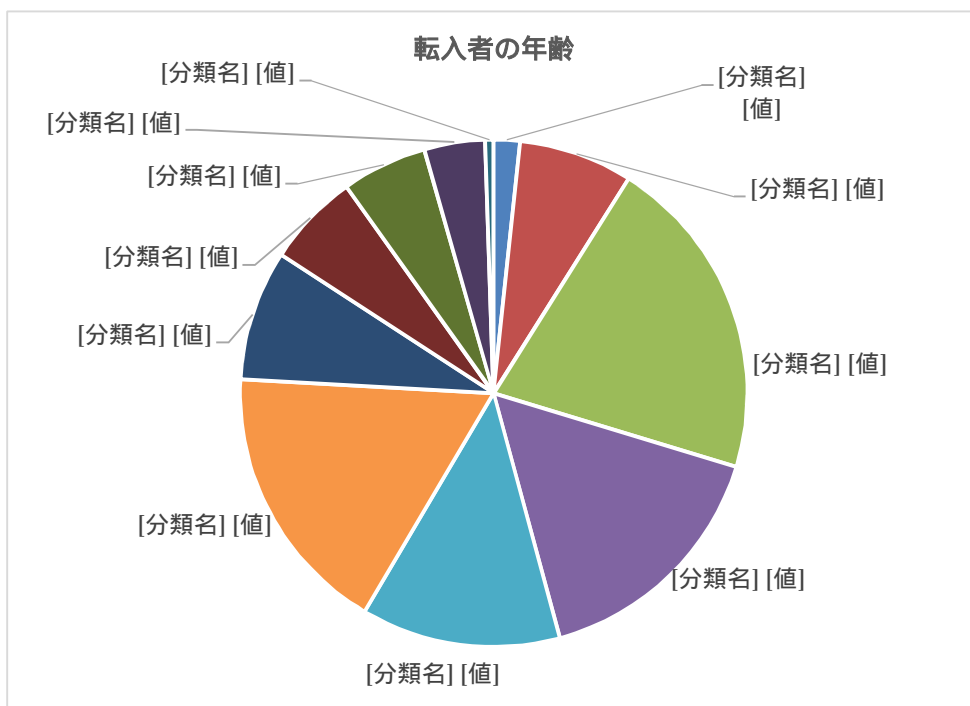
転入者の性別は「男性」が40.2%、「女性」が59.3%であった。(n=771)



(2) 回答者の年齢

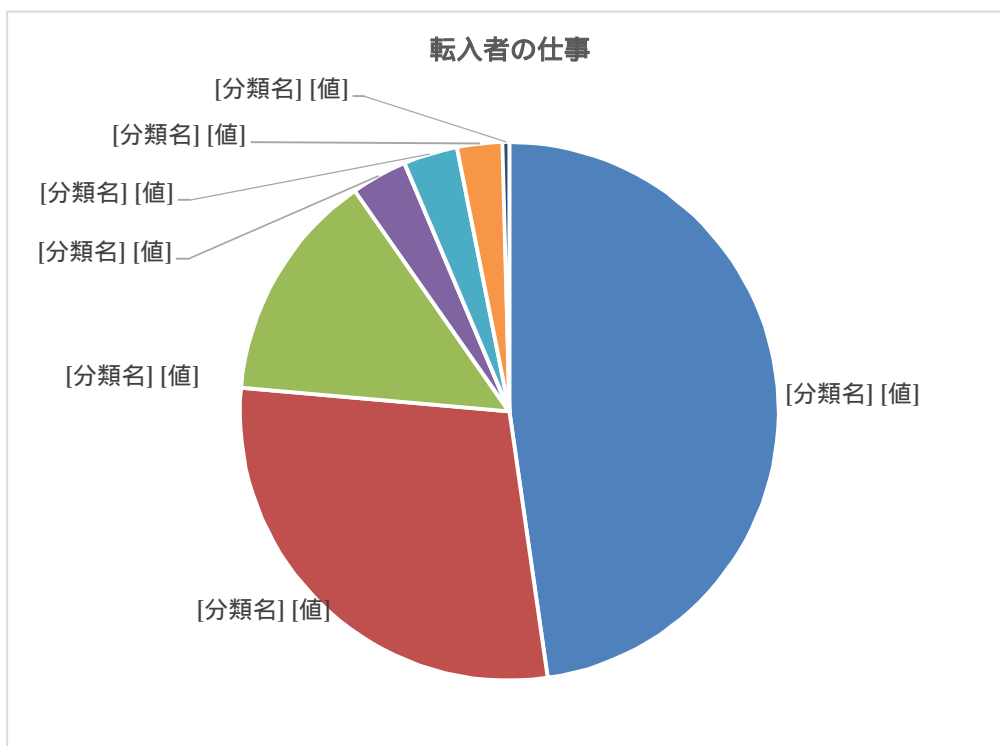
転入者の年齢は「25~29歳」が20.8%と最も多く、次いで「40~49歳」、「30~34歳」の順であった。

(n=771)



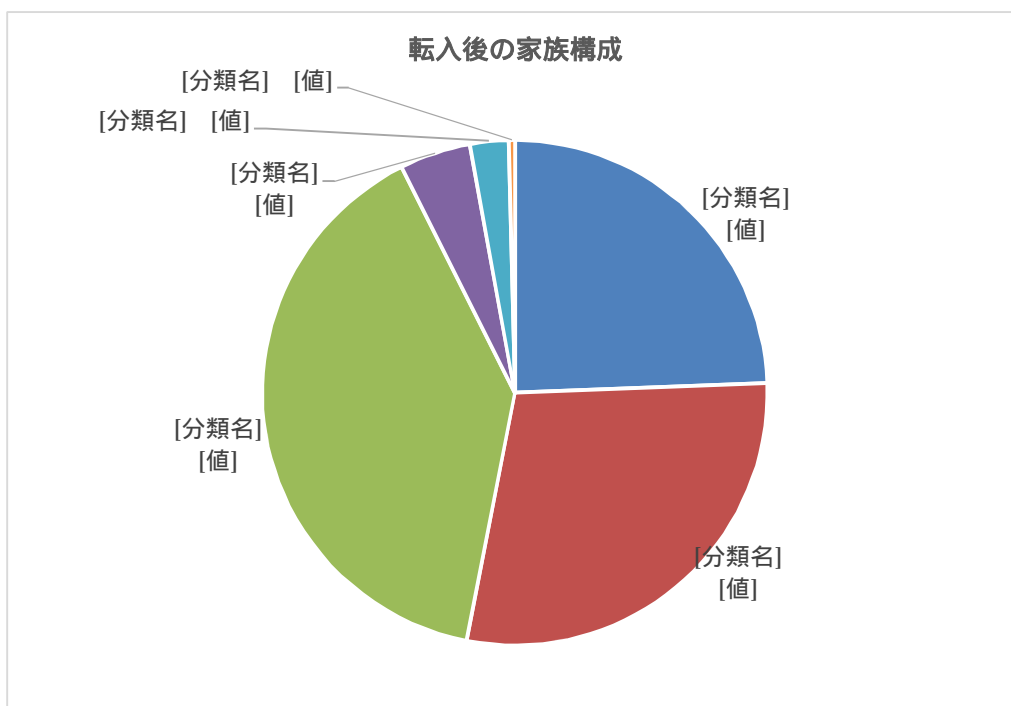
(3) 回答者の仕事

転入者の仕事は「会社員・公務員」が47.7%と最も多く、次に「無職（家事専業など）」が28.7%であった。(n=771)



(4) 転入後の家族構成

転入後の家族構成は「2世代世帯（親と子）」が39.6%と最も多く、次いで「1世代世帯（夫婦だけ）」、「単身世帯」の順であった。(n=771)

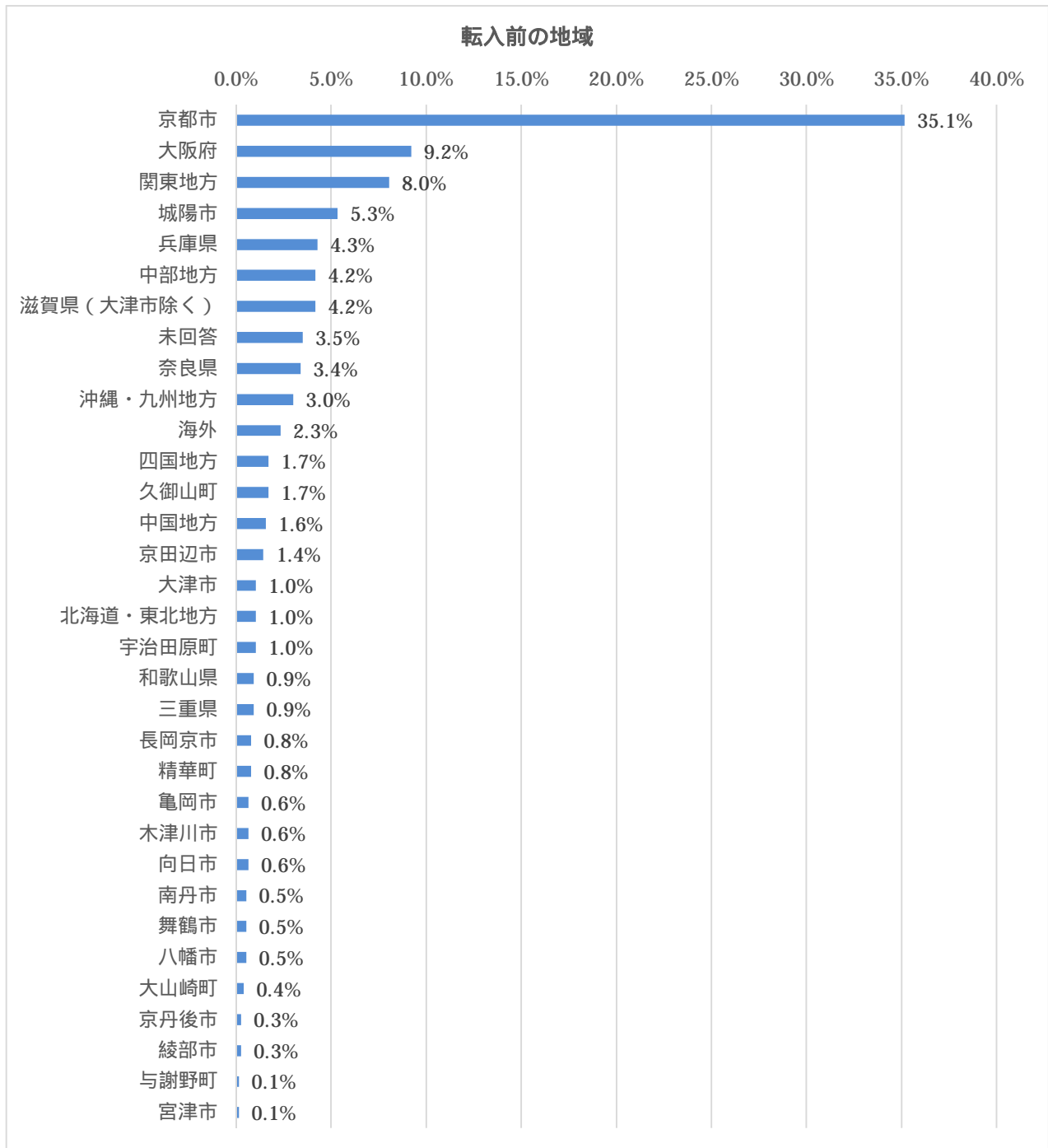


2. 調査結果

(1) 転入前の地域

転入前の地域では京都市が最も多く 35.1%、次いで大阪府が 9.2%、関東地方 8.0%の順であった。

(n=771)



(地方区分)

北海道・東北地方：北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
 関東地方：茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
 中部地方：新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県
 中国地方：鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
 四国地方：徳島県・香川県・愛媛県・高知県
 沖縄・九州地方：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

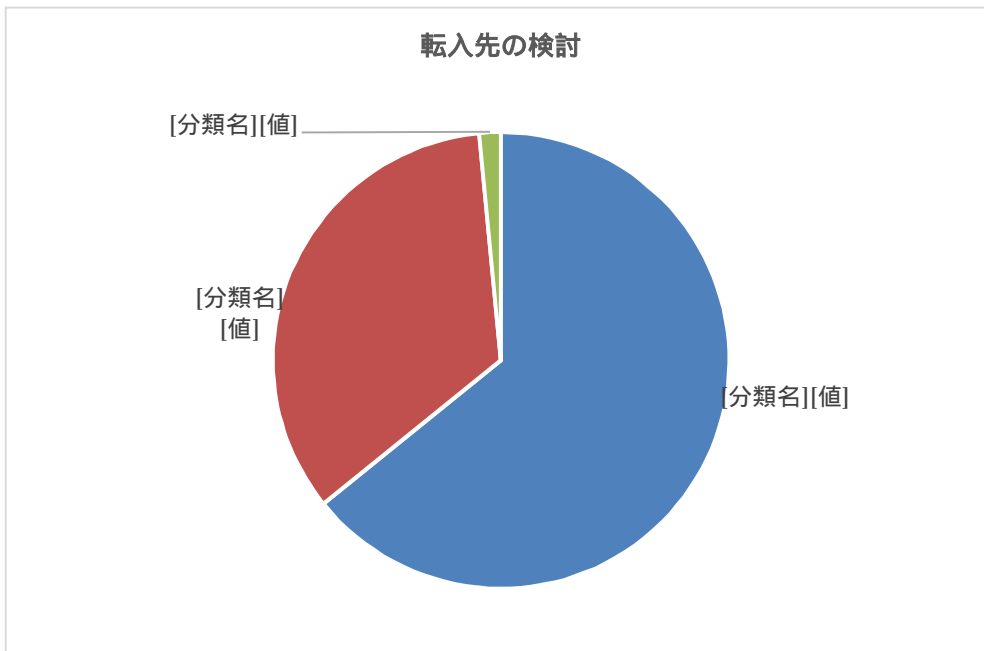
転入前の地域上位7地域の転入者の年齢

転入者の年齢 転入前の地域	転入者の年齢											未回答	総計
	20歳未満	20～24歳	25～29歳	30～34歳	35～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上			
1. 京都市	3	18	67	59	29	37	14	17	10	16	1	271	
2. 大阪府	0	4	17	10	12	13	4	4	3	3	1	71	
3. 関東地方	0	1	10	12	9	13	10	3	3	0	1	62	
4. 城陽市	1	4	5	1	8	8	7	3	4	0	0	41	
5. 兵庫県	2	2	6	4	6	5	2	0	2	4	0	33	
6. 中部地方	1	2	7	3	4	8	2	2	3	0	0	32	
7. 滋賀県(大津市除く)	1	3	4	7	5	5	2	2	2	1	0	32	

 は、各地域の最も多い年齢。

(2) 転入先の検討

転入先として、宇治市以外のまちを検討したかどうかという設問に対し「他のまちは検討せず、宇治市内だけで探した」が64.2%、「他のまちも検討したが、宇治市に決めた」が34.2%であった。(n=771)



転入先の検討について、「他のまちも検討したが、宇治市に決めた」34.2% (264人)のうち、検討した具体的な市(複数回答)は以下のとおり。

京都市	176
城陽市	33
京田辺市	12
滋賀県	8
長岡京市	6
神戸市	5
向日市	4
久御山町	4
枚方市	4
八幡市	4
大津市	3
その他	25




京都市を検討した転入者が住まいを選ぶきっかけ・理由(上位5つ)

きっかけ・理由	値
住宅の都合(価格、広さなど)	70
結婚・出産など世帯構成の変動	62
仕事の都合(就職・転職・退職など)	53
電車・バスなどの交通の便が良い	53
親族との同居・近居	40

(3) 転入前後の住居形態

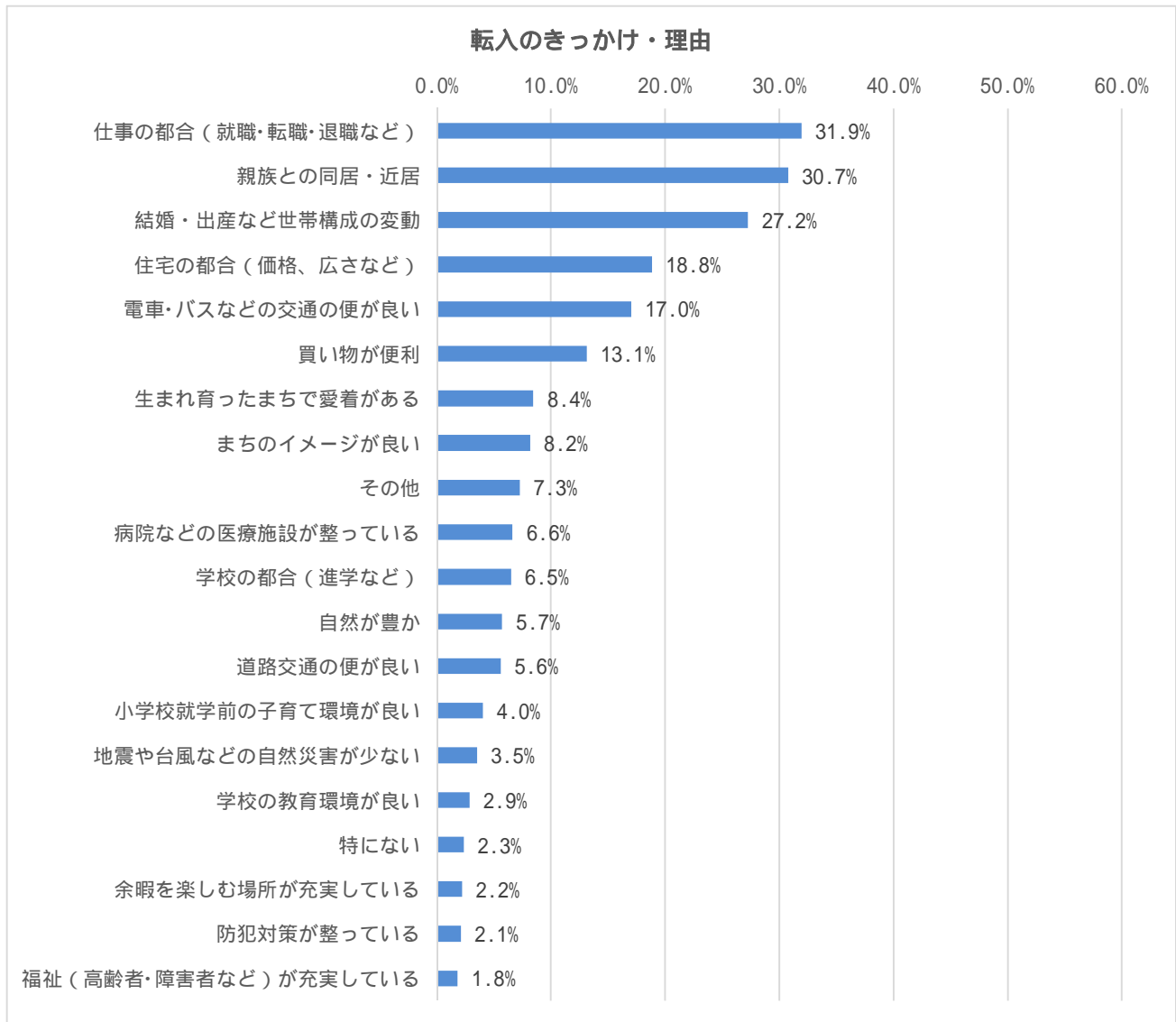
転入前後の住居形態は「賃貸 賃貸」が 22.6%、「賃貸 持ち家（戸建て）」が 16.3%、「持ち家（戸建て） 賃貸」が 11.7%の順であった。（n=771）

転入前の住居 \ 転入後の住居	持ち家 (戸建て)	持ち家 (分譲マンションなど)	賃貸	社宅・寮・ 下宿など	その他	未回答	総計
持ち家（戸建て）	8.8%	1.7%	11.7%	1.8%	1.7%	2.1%	27.8%
持ち家（分譲マンションなど）	2.2%	1.7%	1.3%	0.3%	0.5%	0.9%	6.9%
賃貸	16.3%	2.1%	22.6%	2.7%	1.8%	0.9%	46.4%
社宅・寮・下宿など	2.7%	1.0%	1.9%	4.3%	0.1%	1.2%	11.3%
その他	0.9%	0.3%	0.4%	0.0%	0.5%	0.1%	2.2%
未回答	0.0%	0.0%	0.4%	0.4%	0.0%	4.7%	5.4%
総計	31.0%	6.7%	38.3%	9.5%	4.7%	9.9%	100.0%

 は、全回答のなかで割合が高い住居形態（上位3つ）

(4) 転入のきっかけ・理由

転入者の新たな住まいを決める際のきっかけ・理由は「仕事の都合(就職・転職・退職など)」が31.9%、「親族との同居・近居」が30.7%、「結婚・出産など世帯構成の変動」が27.2%であった。(n=771・複数回答)



(5) 年齢別にみた転入のきっかけ・理由

50歳代までは「仕事の都合(就職・転出・退職など)」、「結婚・出産など世帯構成の変動」、「親族との同居・近居」をきっかけ・理由とする転入が多く、60歳代以降は「親族との同居・近居」が多かった。

(n=771・複数回答)

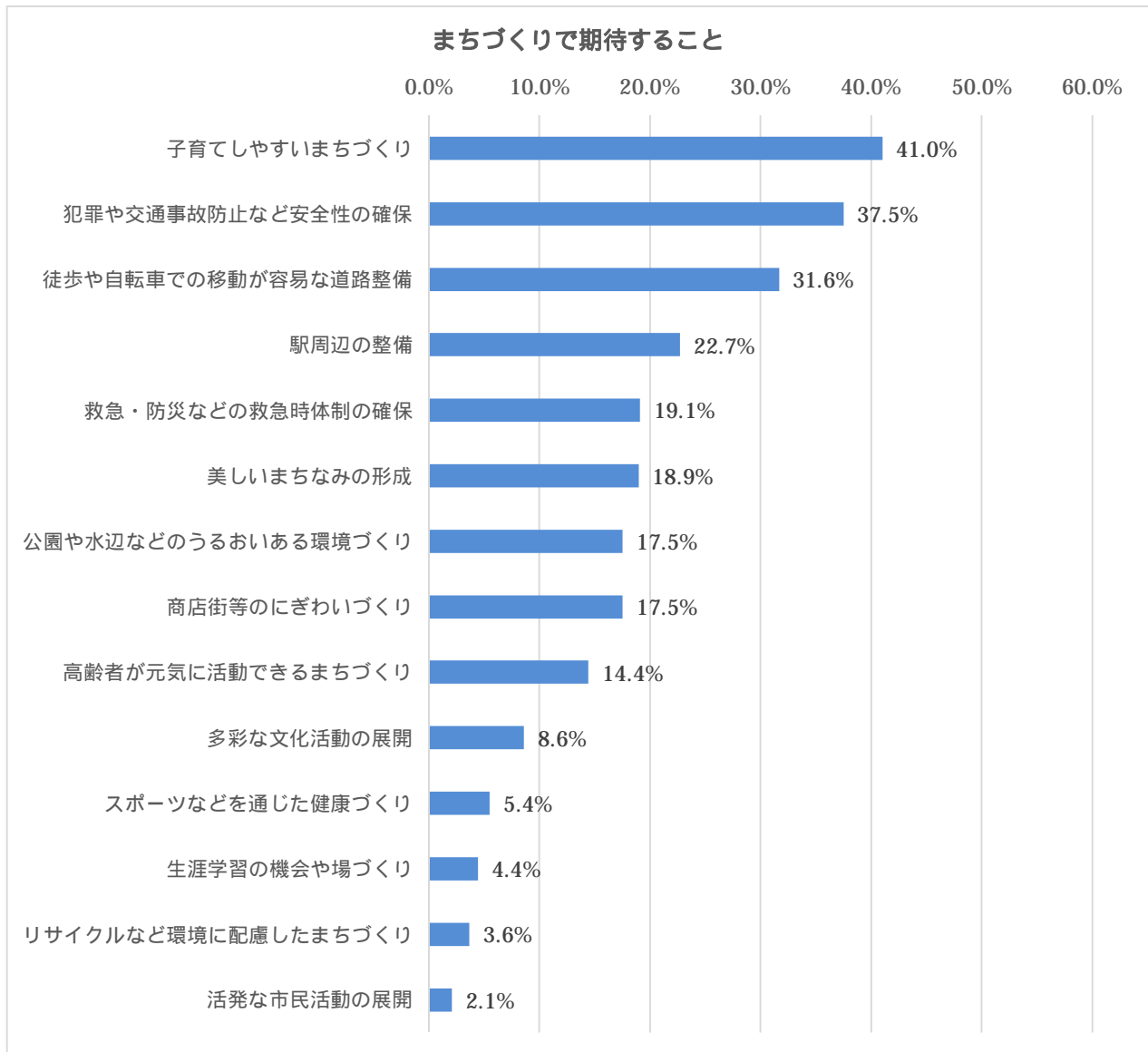
転入の きっかけ・理由	親族との同居・近居	結婚・出産など世帯構成の変動	仕事の都合(就職・転職・退職など)	学校の都合(進学など)	住宅の都合(価格、広さなど)	電車・バスなどの交通の便が良い	道路交通の便が良い	生まれ育ったまちで愛着がある	まちのイメージが良い	防犯対策が整っている	地震や台風などの自然災害が少ない	自然が豊か	病院などの医療施設が整っている	福祉(高齢者・障害者など)が充実している	小学校就学前の子育て環境が良い	学校の教育環境が良い	買い物が便利	余暇を楽しむ場所が充実している	特になし	その他
転入者の年齢																				
20歳未満	4	1	3	5	1	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	2
20～24歳	8	11	25	7	6	5	0	0	1	0	0	0	0	0	2	2	2	0	2	0
25～29歳	36	71	58	7	25	28	8	16	13	3	6	8	8	0	7	4	22	2	2	3
30～34歳	40	58	44	2	35	31	11	20	18	3	6	9	7	2	12	9	21	2	1	5
35～39歳	37	30	36	10	15	14	5	9	6	1	3	7	4	0	4	2	11	0	1	5
40～49歳	41	31	49	14	28	20	9	13	9	2	5	6	4	0	6	4	14	1	0	12
50～59歳	20	7	23	5	13	13	3	4	1	0	1	3	4	1	0	0	8	3	2	7
60～69歳	19	1	5	0	12	11	4	2	9	3	2	5	9	2	0	0	11	3	1	5
70～79歳	14	0	3	0	6	6	1	1	3	3	3	5	8	5	0	0	5	4	4	12
80歳以上	16	0	0	0	2	1	1	0	2	1	1	1	7	4	0	0	5	2	3	5
未回答	2	0	0	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	0	1	0
総計	237	210	246	50	145	131	43	65	63	16	27	44	51	14	31	22	101	17	18	56



は、各年齢の最も多いきっかけ・理由。

(6) まちづくりで期待すること

転入者がまちづくりで期待することは「子育てしやすいまちづくり」が41.0%、「犯罪や交通事故防止など安全性の確保」が37.5%、「徒歩や自転車での移動が容易な道路整備」が31.6%であった。(n=771・複数回答)

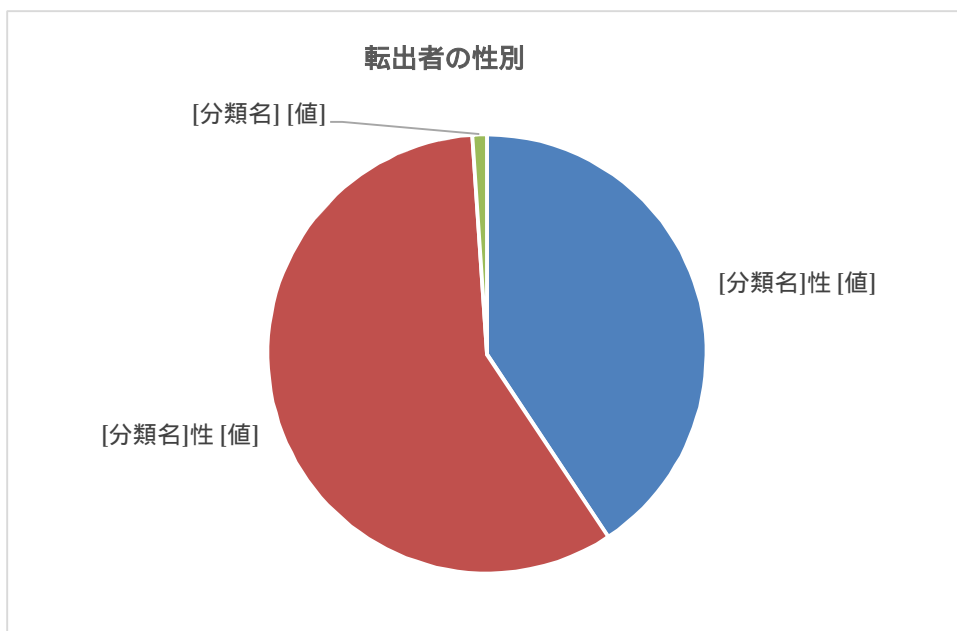


． 転出アンケート結果

1 . 回答者の属性

(1) 回答者の性別

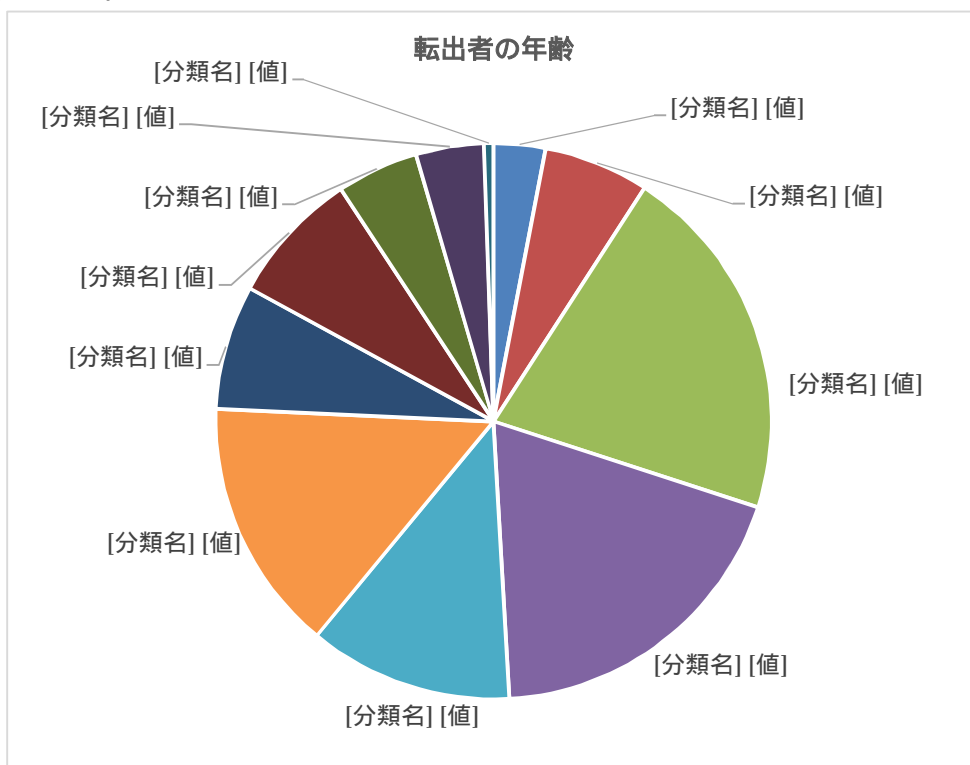
転出者の性別は「男性」が 40.7%、「女性」が 58.3%であった。(n=733)



(2) 回答者の年齢

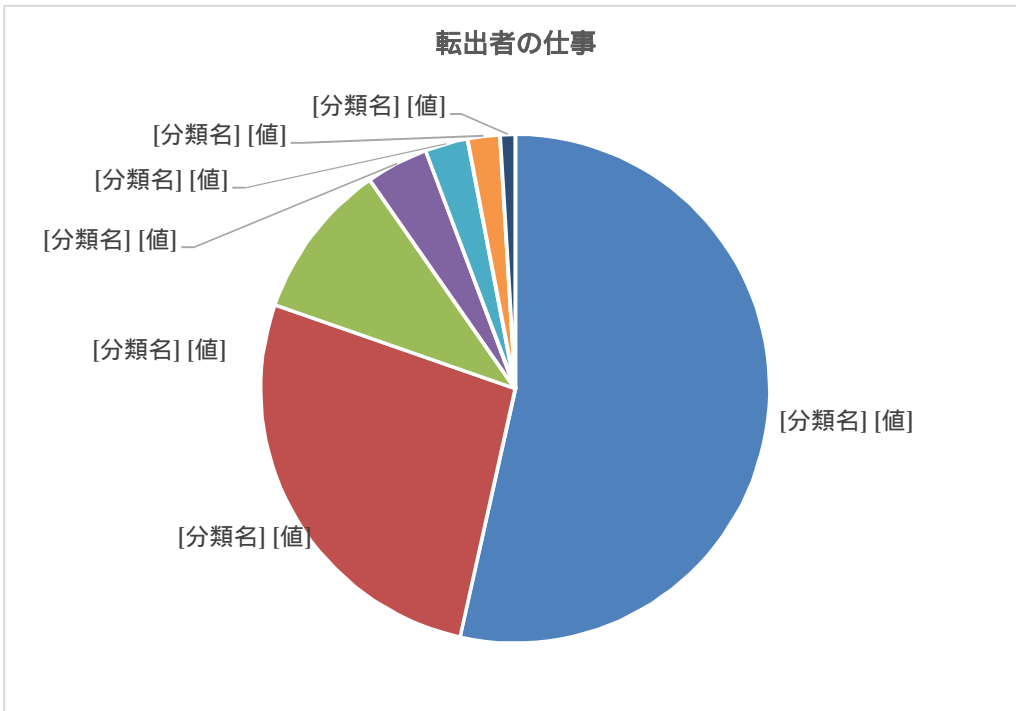
転出者の年齢は「25~29 歳」が 20.9%と最も多く、次いで「30~34 歳」、「40~49 歳」の順であった。

(n=733)



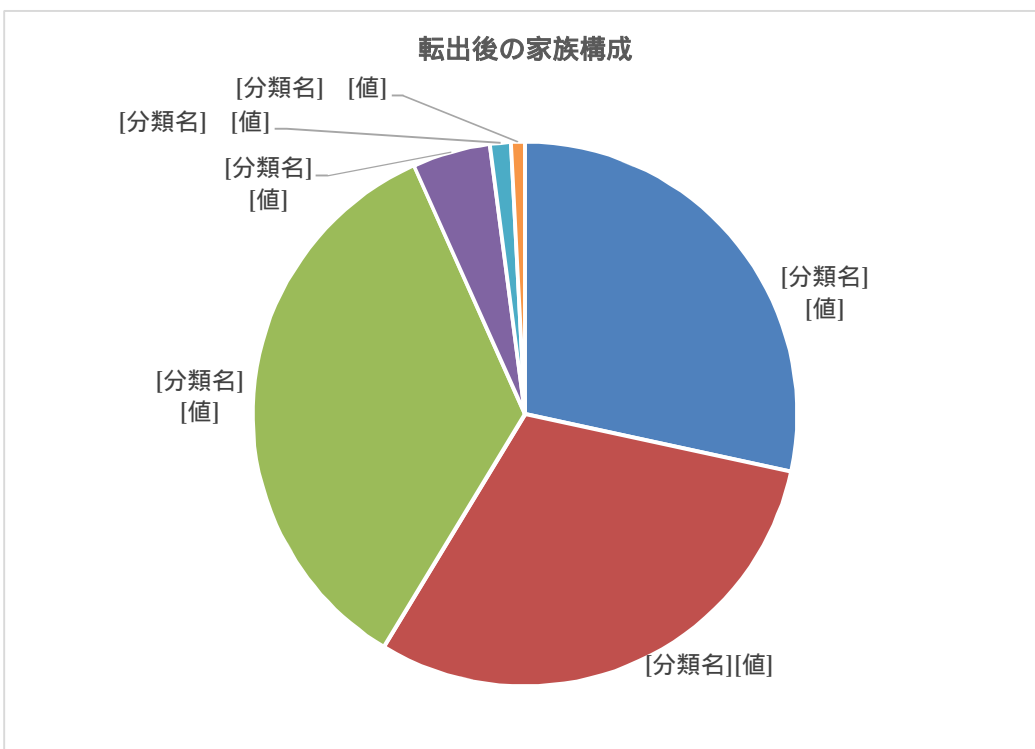
(3) 回答者の仕事

転出者の仕事は「会社員・公務員」が 53.5%と最も多く、次に「無職（家事専業など）」が 26.9%であった。(n=733)



(4) 転出後の家族構成

転出後の家族構成は「2世代世帯（親と子）」が 34.7%と最も多く、次いで「1世代世帯（夫婦だけ）」、「単身世帯」の順であった。(n=733)

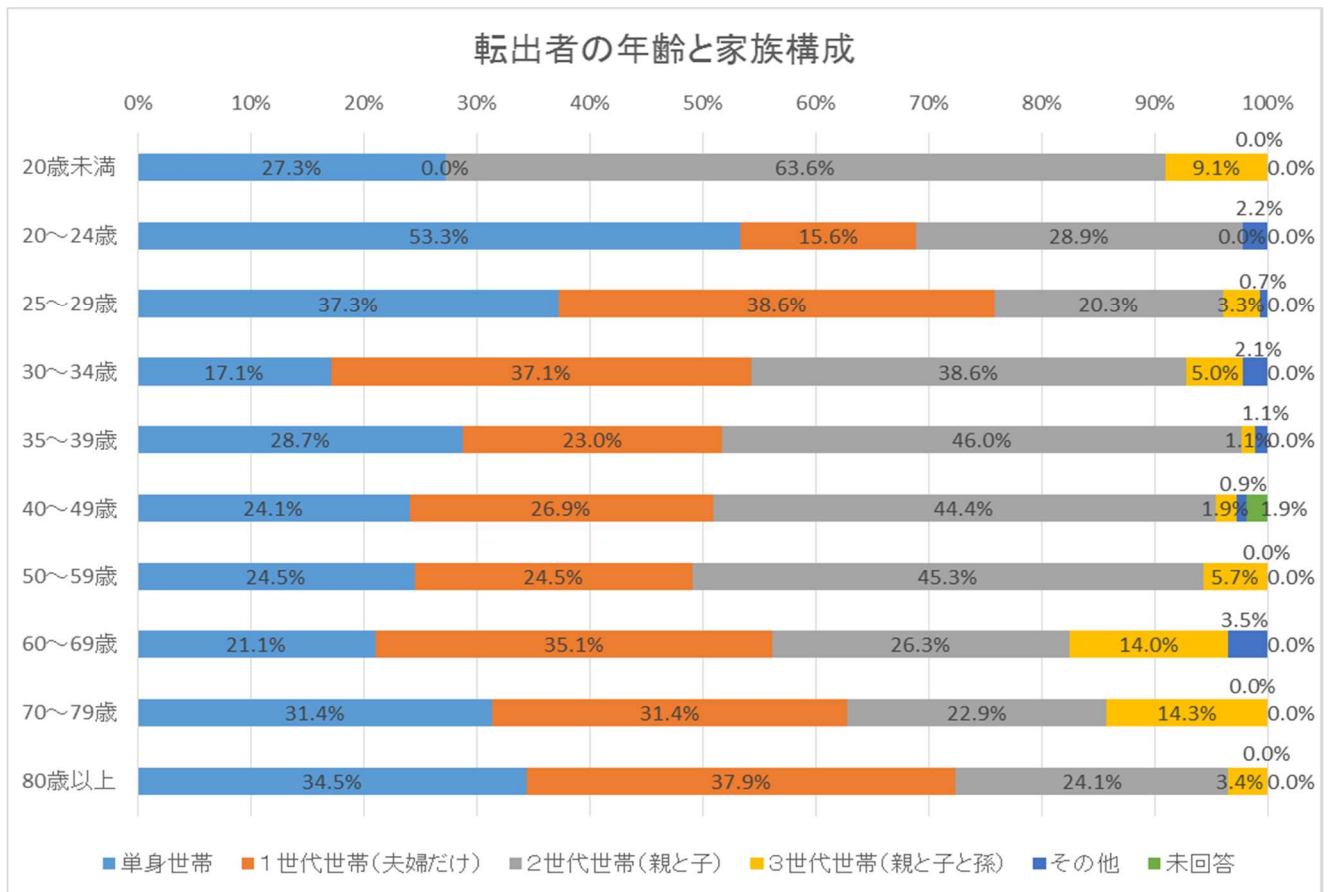


(5) 転出者の年齢と家族構成

転出後の家族構成では、子のいない世帯(単身世帯及び1世代世帯(夫婦だけ))の割合が高く、「20歳未満」「50～59歳」を除くすべての年代で、子のいない世帯が半数以上を占めている。(n=733)

転出者の年齢と家族構成	単身世帯	1世代世帯 (夫婦だけ)	2世代世帯 (親と子)	3世代世帯 (親と子と孫)	その他	未回答	総計
20歳未満	6	0	14	2	0	0	22
20～24歳	24	7	13	0	1	0	45
25～29歳	57	59	31	5	1	0	153
30～34歳	24	52	54	7	3	0	140
35～39歳	25	20	40	1	1	0	87
40～49歳	26	29	48	2	1	2	108
50～59歳	13	13	24	3	0	0	53
60～69歳	12	20	15	8	2	0	57
70～79歳	11	11	8	5	0	0	35
80歳以上	10	11	7	1	0	0	29
未回答	0	0	0	0	0	4	4
総計	208	222	254	34	9	6	733

は、各年齢で子のいない世帯が半数以上を占めているもの。

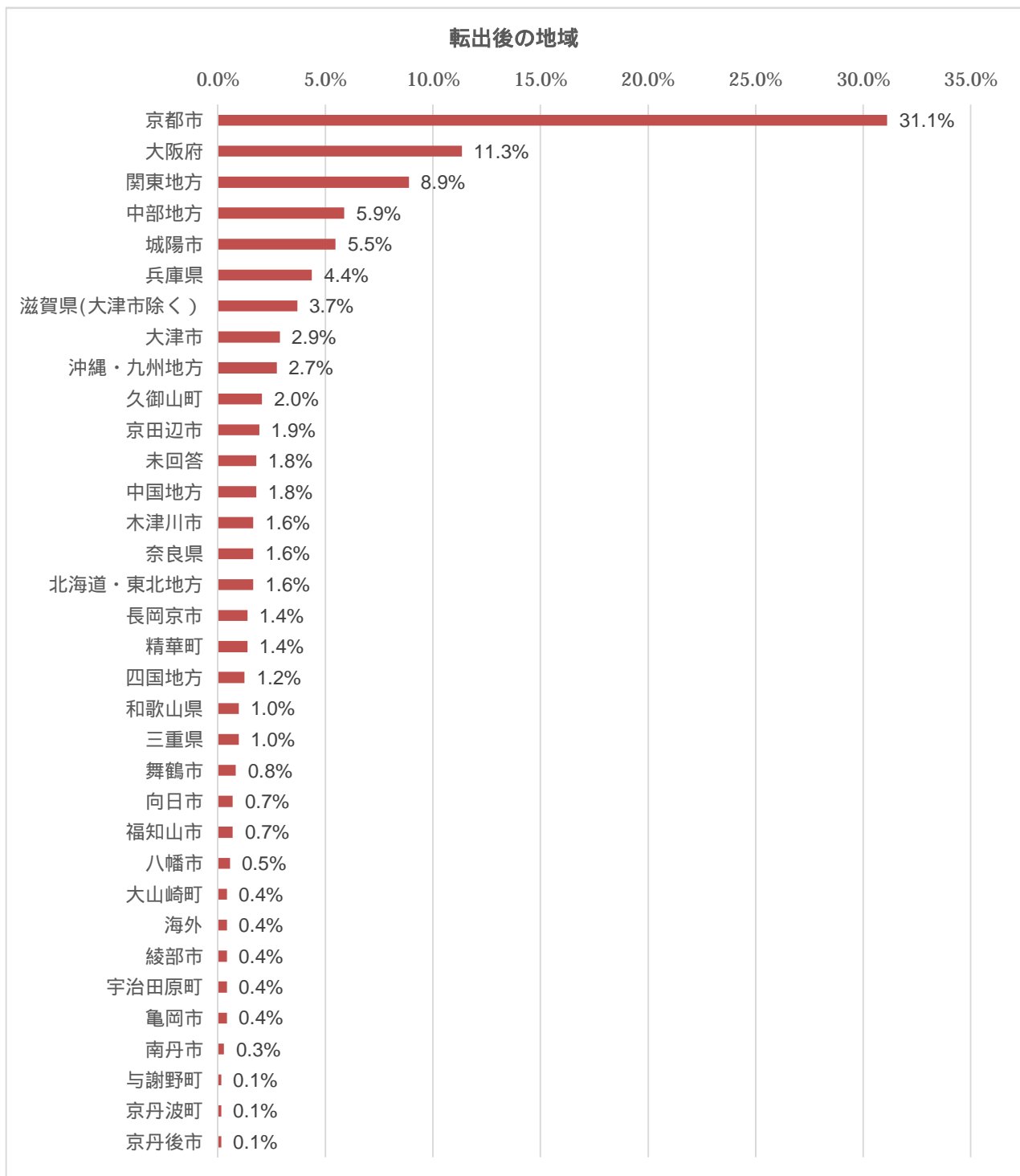


2. 調査結果

(1) 転出後の地域

転出後の地域では京都市が最も多く 31.1%、次いで大阪府が 11.3%、関東地方 8.9%の順であった。

(n=733)



(地方区分)

北海道・東北地方：北海道・青森県・岩手県・宮城県・秋田県・山形県・福島県
 関東地方：茨城県・栃木県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県
 中部地方：新潟県・富山県・石川県・福井県・山梨県・長野県・岐阜県・静岡県・愛知県
 中国地方：鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県
 四国地方：徳島県・香川県・愛媛県・高知県
 沖縄・九州地方：福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

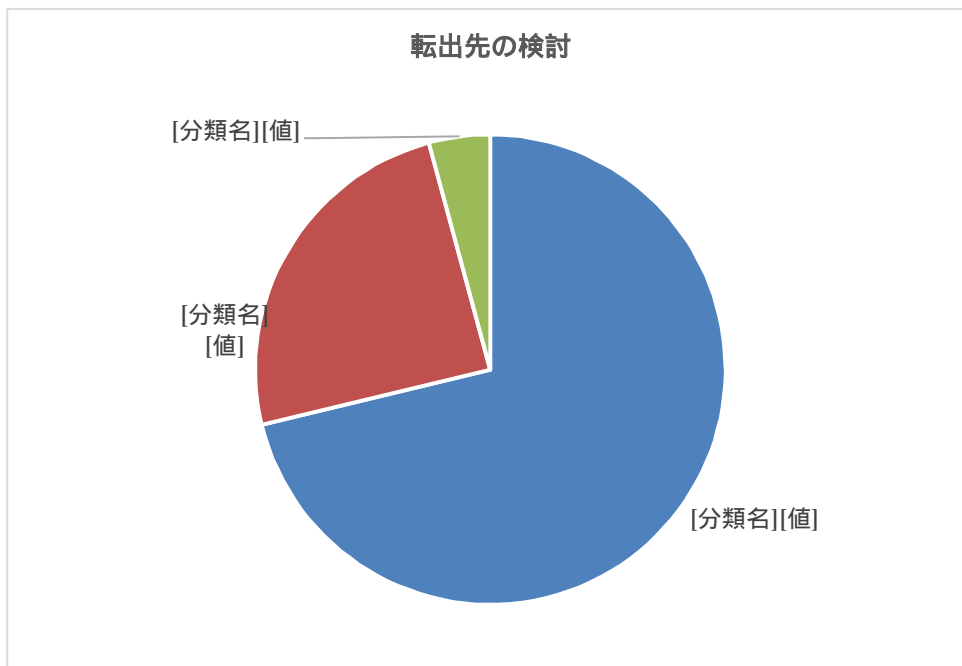
転出後の地域上位7地域の転出者の年齢

転出者の年齢 転出後の地域	転出者の年齢										未 回 答	総 計
	2 0 歳 未 満	2 0 ～ 2 4 歳	2 5 ～ 2 9 歳	3 0 ～ 3 4 歳	3 5 ～ 3 9 歳	4 0 ～ 4 9 歳	5 0 ～ 5 9 歳	6 0 ～ 6 9 歳	7 0 ～ 7 9 歳	8 0 歳 以 上		
1. 京都市	10	7	51	43	30	34	16	17	13	7	0	228
2. 大阪府	0	9	24	21	10	10	2	1	3	3	0	83
3. 関東地方	4	11	16	7	8	14	1	0	1	3	0	65
4. 中部地方	0	1	7	9	7	7	5	3	1	3	0	43
5. 城陽市	0	1	10	6	3	5	5	7	1	2	0	40
6. 兵庫県	0	1	6	6	2	4	6	4	3	0	0	32
7. 滋賀県(大津市除く)	1	2	6	7	2	2	1	5	1	0	0	27

 は、各地域の最も多い年齢。

(2) 転出先の検討


転出先として、宇治市内を検討したかどうかという設問に対し「宇治市内は検討しなかった」が71.2%、「宇治市内も検討したが、他のまちに決めた」が24.6%であった。(n=733)



(3) 転出前後の住居形態

転出前後の住居形態は「持ち家(戸建て)→賃貸」が19.0%、「賃貸→賃貸」16.8%、「持ち家(戸建て)→持ち家(戸建て)」が10.6%の順であった。(n=733)

転出前の住居 \ 転出後の住居	持ち家(戸建て)	持ち家(分譲マンションなど)	賃貸	社宅・寮・下宿など	その他	未回答	総計
持ち家(戸建て)	10.6%	4.4%	19.0%	2.5%	1.4%	0.8%	38.6%
持ち家(分譲マンションなど)	2.2%	1.8%	2.9%	0.5%	0.1%	1.0%	8.5%
賃貸	9.1%	1.6%	16.8%	1.9%	0.5%	2.0%	32.1%
社宅・寮・下宿など	3.7%	0.4%	4.2%	3.1%	0.1%	0.7%	12.3%
その他	1.1%	0.3%	1.9%	0.0%	0.3%	0.1%	3.7%
未回答	0.0%	0.0%	0.4%	0.0%	0.0%	4.5%	4.9%
総計	26.7%	8.5%	45.2%	8.0%	2.5%	9.1%	100.0%

 は、全回答のなかで割合が高い住居形態(上位3つ)

(4) 転出後の地域と住居形態

転出後の住居形態は「賃貸」が最も多く、京都市への転出では「賃貸」が「持ち家(戸建て・分譲マンションなど)」の約1.5倍であった。

滋賀県や宇治市以南の市町への転出では、「持ち家(戸建て)」が多くなっている。(n=733)

転出後の地域 \ 転出後の住居	持ち家 (戸建て)	持ち家 (分譲マン ションな ど)	賃貸	社宅・寮・ 下宿など	その他	未回答	総計
京都市	47	32	118	10	4	17	228
大阪府	14	5	46	7	3	8	83
関東地方	2	5	37	16	1	4	65
中部地方	12	2	21	4	1	3	43
城陽市	20	1	10	1	0	8	40
兵庫県	10	2	15	3	0	2	32
滋賀県(大津市除く)	11	0	9	3	1	3	27
大津市	10	3	5	1	1	1	21
沖縄・九州地方	6	0	8	2	0	4	20
久御山町	6	0	8	0	0	1	15
京田辺市	9	0	2	0	1	2	14
未回答	1	4	4	2	0	2	13
中国地方	3	1	6	2	1	0	13
木津川市	10	0	0	0	0	2	12
奈良県	6	1	3	1	0	1	12
北海道・東北地方	1	1	8	1	0	1	12
長岡京市	2	1	6	0	0	1	10
精華町	6	1	2	1	0	0	10
四国地方	1	0	6	1	1	0	9
和歌山県	2	0	3	0	2	0	7
三重県	1	0	4	0	1	1	7
舞鶴市	3	0	1	2	0	0	6
向日市	1	2	0	0	0	2	5
福知山市	3	0	2	0	0	0	5
八幡市	0	1	2	0	0	1	4
大山崎町	1	0	2	0	0	0	3
海外	0	0	0	0	1	2	3
綾部市	1	0	2	0	0	0	3
宇治田原町	3	0	0	0	0	0	3
亀岡市	2	0	1	0	0	0	3
南丹市	2	0	0	0	0	0	2
与謝野町	0	0	0	1	0	0	1
京丹波町	0	0	0	1	0	0	1
京丹後市	0	0	0	0	0	1	1
総計	196	62	331	59	18	67	733



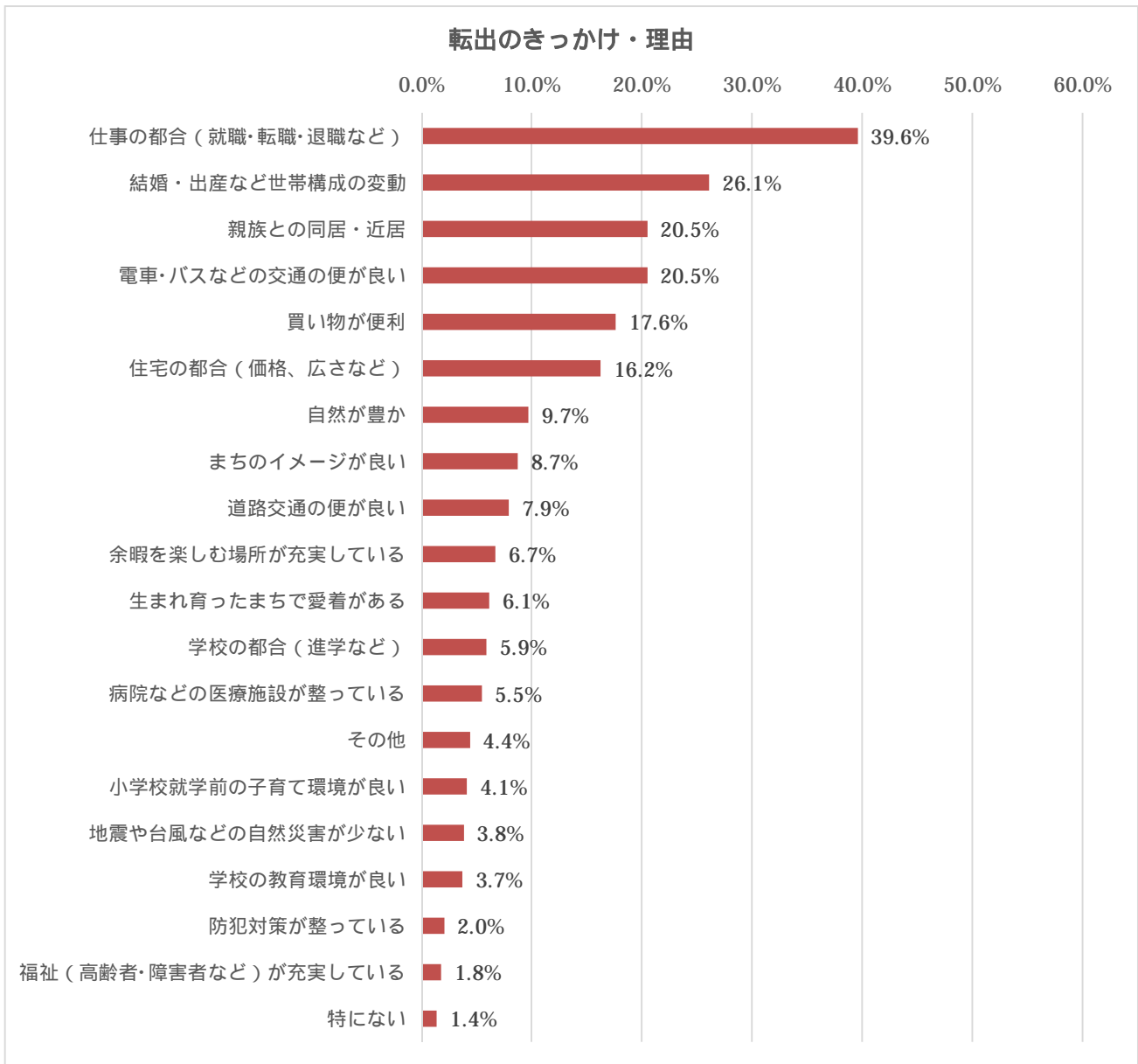
は、各地域の最も多い住居形態。

子育て世帯(就学前及び小学生のいる世帯)の数と割合

転出後の地域 \ 転出後の住居	持ち家(戸建て)		
	うち子育て 世帯	割合	
城陽市	20	4	20.0%
滋賀県(大津市除く)	11	6	54.5%
大津市	10	3	30.0%
京田辺市	9	6	66.7%
木津川市	10	6	60.0%
精華町	6	5	83.3%

(5) 転出のきっかけ・理由


転出者の新たな住まいを決める際のきっかけ・理由は「仕事の都合(就職・転職・退職など)」が39.6%、「結婚・出産など世帯構成の変動」が26.1%、「親族との同居・近居」「電車・バスなどの交通の便が良い」がそれぞれ20.5%であった。(n=733・複数回答)



(6) 年齢別にみた転出のきっかけ・理由

50歳代までは「仕事の都合(就職・転出・退職など)」、「結婚・出産など世帯構成の変動」をきっかけ・理由とする転出が多く、60歳代以降は「親族との同居・近居」が多かった。(n=733・複数回答)

転出の きっかけ・理由 転出者の年齢	親族との同居・近居	結婚・出産など世帯構成の変動	仕事の都合(就職・転職・退職など)	学校の都合(進学など)	住宅の都合(価格、広さなど)	電車・バスなどの交通の便が良い	道路交通の便が良い	生まれ育ったまちで愛着がある	まちのイメージが良い	防犯対策が整っている	地震や台風などの自然災害が少ない	自然が豊か	病院などの医療施設が整っている	福祉(高齢者・障害者など)が充実している	小学校就学前の子育て環境が良い	学校の教育環境が良い	買い物が良い	余暇を楽しむ場所が充実している	特になし	その他
20歳未満	4	1	5	10	6	6	0	2	1	1	0	2	0	0	0	0	4	0	0	1
20～24歳	5	9	24	7	4	1	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	4	2	0	0
25～29歳	13	65	81	1	21	37	18	2	8	1	2	5	3	1	1	0	30	11	1	2
30～34歳	31	62	52	4	19	22	5	8	11	0	5	13	2	0	14	7	10	3	1	1
35～39歳	12	27	39	9	14	19	9	9	12	3	4	8	4	1	8	6	17	4	2	2
40～49歳	17	17	53	5	19	20	6	3	9	2	3	7	4	1	4	9	15	9	2	3
50～59歳	14	3	20	5	11	13	7	7	9	1	3	11	8	1	0	2	13	3	0	6
60～69歳	23	4	10	2	14	16	8	9	8	4	5	14	10	1	1	2	19	11	0	9
70～79歳	15	1	2	0	9	10	2	2	4	2	2	6	5	5	1	1	9	5	3	5
80歳以上	15	1	3	0	1	6	2	2	1	1	4	3	4	3	0	0	7	1	0	3
未回答	1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	1	0
総計	150	191	290	43	119	150	58	45	64	15	28	71	40	13	30	27	129	49	10	32

 は、各年齢の最も多いきっかけ・理由。

(7) 転出地域別のきっかけ・理由

新たな住まいを決めるきっかけ・理由として、関東地方や中部地方など遠方への転出では、「仕事の都合(就職・転出・退職など)」が多いが、京都市への転出では「電車・バスなどの交通の便が良い」が最も多かった。また、大阪府への転出も、「仕事の都合(就職・転出・退職など)」が多かった。

大津市への転出は「自然が豊か」が最も多かった。(n=733・複数回答)

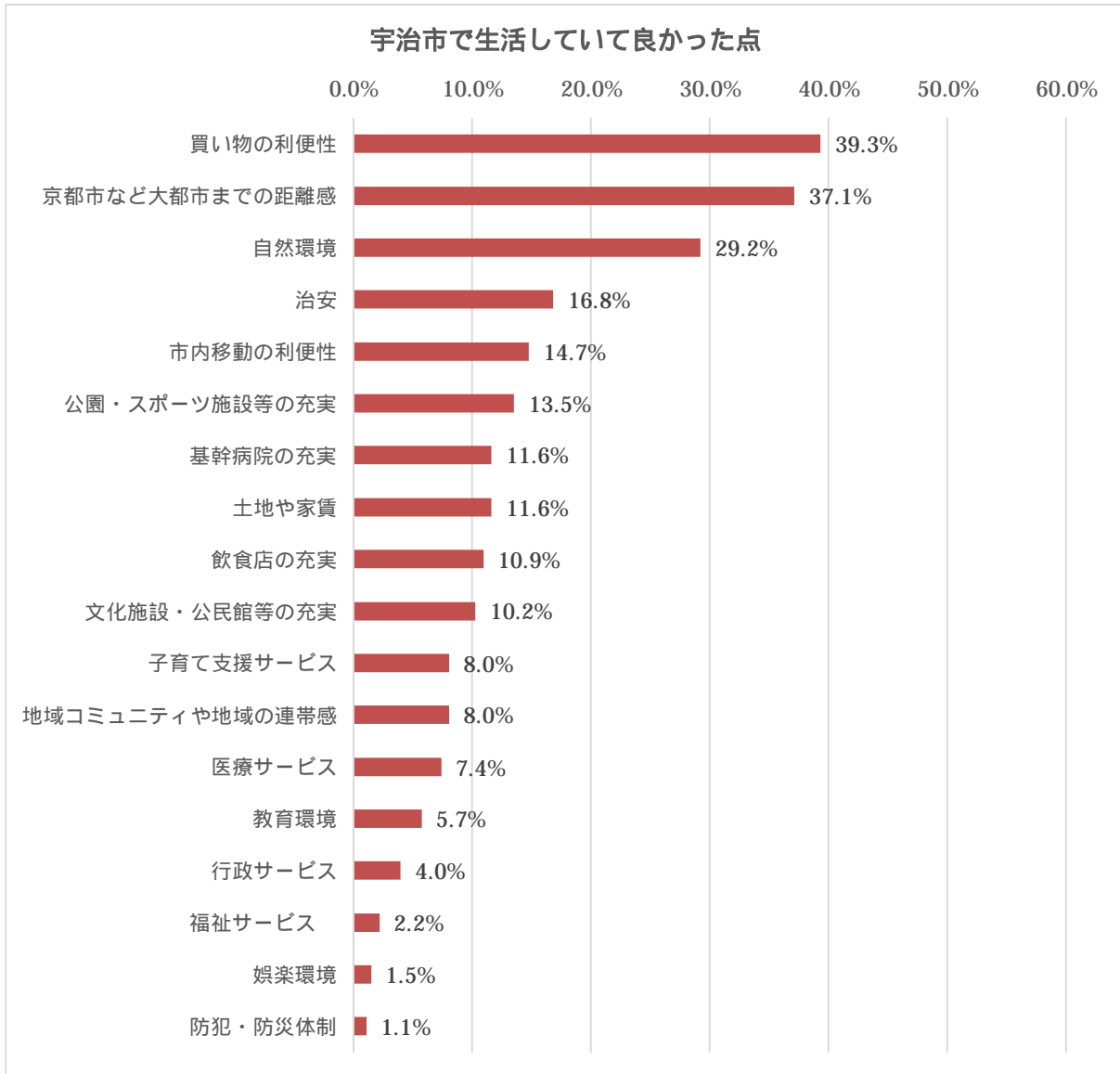
転出の きっかけ・理由	親族との同居・近居	結婚・出産など世帯構成の変動	仕事の都合(就職・転職・退職など)	学校の都合(進学など)	住宅の都合(価格、広さなど)	電車・バスなどの交通の便が良い	道路交通の便が良い	生まれ育ったまちで愛着がある	まちのイメージが良い	防犯対策が整っている	地震や台風などの自然災害が少ない	自然が豊か	病院などの医療施設が整っている	福祉(高齢者・障害者など)が充実している	小学校就学前の子育て環境が良い	学校の教育環境が良い	買い物が便利	余暇を楽しむ場所が充実している	特にない	その他
京都市	43	76	74	14	48	82	25	8	24	9	6	14	17	6	4	9	65	23	3	9
大阪府	11	29	43	2	10	21	6	4	7	1	3	1	5	1	2	0	16	6	1	3
関東地方	6	10	45	5	5	12	5	2	4	0	1	0	4	1	2	4	9	2	0	2
中部地方	13	5	25	1	1	1	2	5	0	0	2	2	0	0	0	0	3	0	1	0
城陽市	11	11	4	0	10	8	2	5	3	0	2	5	2	2	1	0	9	0	0	4
兵庫県	8	4	21	1	1	6	3	3	3	1	0	6	4	1	1	1	5	4	0	1
滋賀県(大津市除く)	7	6	9	1	3	2	2	1	2	1	1	4	1	0	2	1	3	1	0	1
大津市	4	6	3	2	5	2	2	1	3	0	0	9	2	0	0	0	1	4	0	1
沖縄・九州地方	9	3	9	0	1	1	1	4	0	0	0	3	0	0	1	1	1	1	0	2
久御山町	4	7	5	3	5	0	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	2	0
京田辺市	3	4	3	3	5	2	1	0	2	0	1	2	0	0	2	1	2	0	0	2
未回答	1	1	3	0	2	2	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	3	0	2	2
中国地方	4	0	6	0	0	2	0	3	1	0	5	2	2	0	1	0	2	2	0	0
木津川市	3	2	4	2	6	2	0	0	3	1	2	3	0	0	3	4	1	1	0	0
奈良県	7	3	4	1	1	2	1	3	2	0	1	3	0	0	3	1	2	0	0	1
北海道・東北地方	1	0	6	3	0	1	1	0	1	0	0	2	0	0	0	0	1	1	0	0
長岡京市	0	7	3	0	2	0	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
精華町	2	2	0	1	5	0	0	0	2	0	0	2	1	0	3	2	2	0	1	0
四国地方	3	2	4	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0
和歌山県	2	1	4	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	1
三重県	2	2	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
舞鶴市	1	1	3	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
向日市	1	0	1	0	2	2	1	1	1	0	1	0	0	0	1	1	2	0	0	0
福知山市	1	1	3	0	1	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	1
八幡市	0	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
大山崎町	0	2	1	0	1	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
海外	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
綾部市	1	2	2	1	1	1	1	0	1	1	0	2	1	1	1	1	1	1	0	0
宇治原町	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	0	0	1
亀岡市	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	1	1	0	1	0	0
南丹市	1	1	0	0	2	0	0	0	1	1	1	2	0	1	1	0	0	0	0	0
与謝野町	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京丹波町	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
京丹後市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
総計	150	191	290	43	119	150	58	45	64	15	28	71	40	13	30	27	129	49	10	32

 は、各地域の最も多いきっかけ・理由。

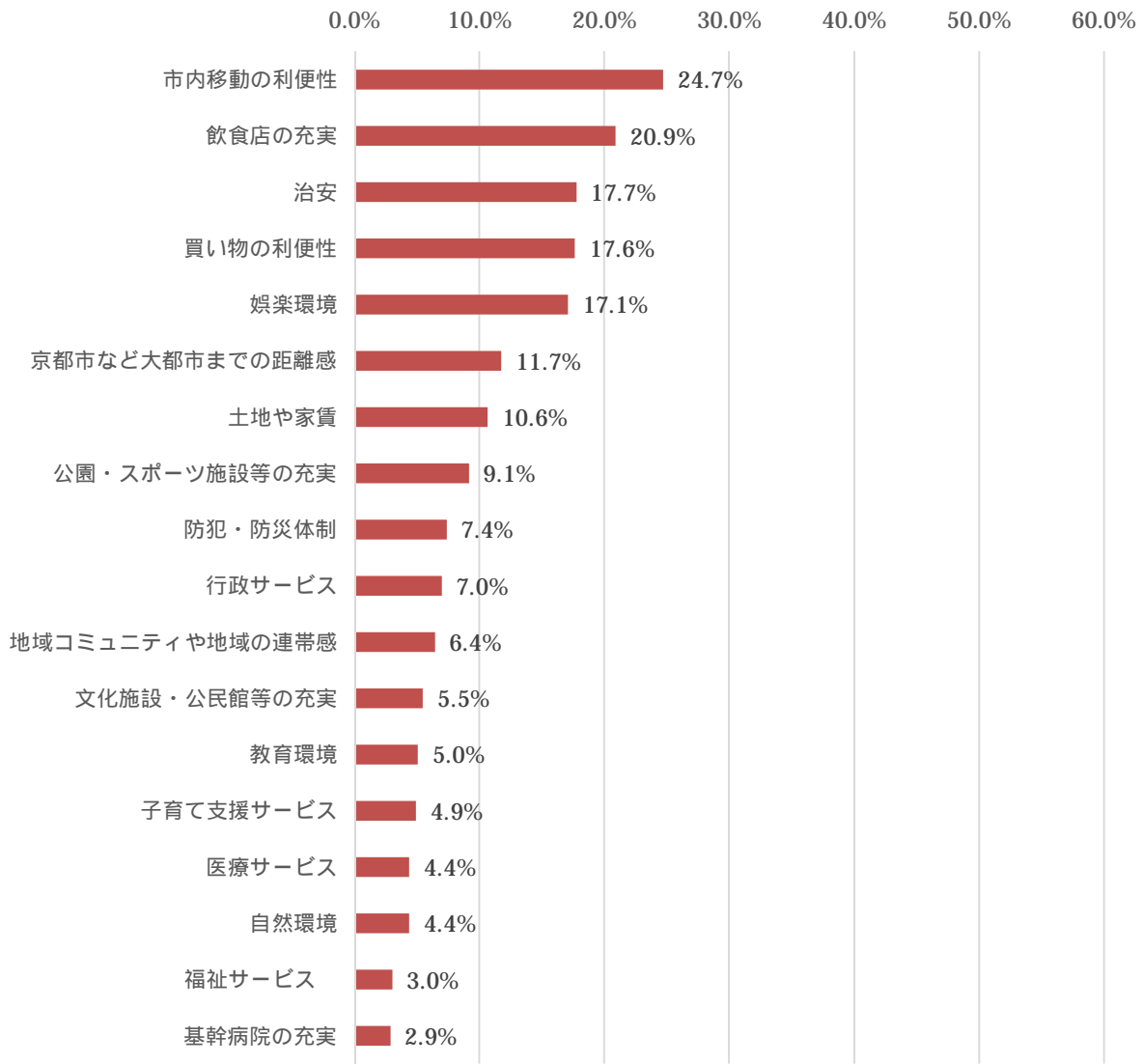
(8) 宇治市で生活していて良かった点・不満な点

転出者が宇治市で生活していて良かった点は「買い物の利便性」が 39.3%、「京都市など大都市までの距離感」が 37.1%、「自然環境」が 29.2%であった。

一方で不満な点は「市内移動の利便性」が 24.7%、「飲食店の充実」が 20.9%、「治安」が 17.7%であった。(n=733・複数回答)



宇治市で生活していて不満な点



(9) 年齢ごとの宇治市で生活していて良かった点・不満な点

宇治市で生活していて良かった点は、20歳代と30歳前半までは「京都市など大都市までの距離感」の割合が高く、35歳以上では「買い物の利便性」の割合が高かった。

不満な点は、特に35歳以上で「市内移動の利便性」の割合が高かった。(n=733・複数回答)

生活していて 良かった点	転出者の年齢																		
	買い物の利便性	飲食店の充実	子育て支援サービス	教育環境	基幹病院の充実	医療サービス	福祉サービス	行政サービス	公園・スポーツ施設等の充実	文化施設・公民館等の充実	娯楽環境	市内移動の利便性	京都市など大都市までの距離感	防犯・防災体制	治安	自然環境	地域コミュニティや地域の連帯感	土地や家賃	総計
20歳未満	11	4	0	4	2	1	0	0	5	3	0	5	8	0	3	10	5	2	63
20～24歳	20	6	2	3	2	2	0	0	2	4	1	8	22	0	12	12	2	4	102
25～29歳	48	18	7	9	10	9	0	6	20	21	3	25	61	4	31	49	15	19	355
30～34歳	54	22	19	11	18	11	3	8	18	10	2	21	58	1	27	32	11	15	341
35～39歳	40	12	10	2	9	8	2	1	17	10	1	10	28	0	12	19	2	15	198
40～49歳	38	5	18	4	13	10	1	3	15	6	2	18	32	1	19	34	9	18	246
50～59歳	23	7	1	5	8	0	1	1	8	7	1	4	16	0	7	16	5	4	114
60～69歳	25	3	2	1	9	7	3	3	8	4	0	9	23	0	9	21	3	4	134
70～79歳	14	1	0	0	7	2	3	5	2	6	1	6	15	1	1	13	2	3	82
80歳以上	13	1	0	2	5	4	3	1	4	3	0	2	9	1	2	7	5	1	63
未回答	2	1	0	1	2	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0	9
総計	288	80	59	42	85	54	16	29	99	75	11	108	272	8	123	214	59	85	1707

は、各年齢の最も多い良かった点。

生活していて 不満な点	転出者の年齢																		
	買い物の利便性	飲食店の充実	子育て支援サービス	教育環境	基幹病院の充実	医療サービス	福祉サービス	行政サービス	公園・スポーツ施設等の充実	文化施設・公民館等の充実	娯楽環境	市内移動の利便性	京都市など大都市までの距離感	防犯・防災体制	治安	自然環境	地域コミュニティや地域の連帯感	土地や家賃	総計
20歳未満	3	3	1	3	1	1	0	2	1	1	3	2	6	2	5	2	1	5	42
20～24歳	6	8	0	1	0	0	0	2	9	1	16	6	4	4	9	4	1	5	76
25～29歳	31	43	5	5	4	4	2	8	12	5	42	41	21	9	35	4	6	14	291
30～34歳	26	27	13	9	2	9	6	12	11	6	26	28	13	15	31	4	8	13	259
35～39歳	13	18	6	3	2	3	2	8	9	6	16	21	15	4	21	5	1	7	160
40～49歳	21	30	5	7	2	10	4	3	12	5	12	36	13	5	14	5	3	12	199
50～59歳	4	9	3	5	3	2	5	7	3	3	2	15	5	6	4	2	5	3	86
60～69歳	12	8	2	2	4	2	1	6	5	9	4	14	6	6	5	2	10	11	109
70～79歳	7	3	1	2	2	1	2	1	2	3	2	10	1	3	4	3	7	6	60
80歳以上	5	3	0	0	1	0	0	2	1	1	1	7	1	0	2	1	5	1	31
未回答	1	1	0	0	0	0	0	0	2	0	1	1	1	0	0	0	0	1	8
総計	129	153	36	37	21	32	22	51	67	40	125	181	86	54	130	32	47	78	1321

は、各年齢の最も多い不満な点。


(10) 子育て世帯の生活していて良かった点・不満な点

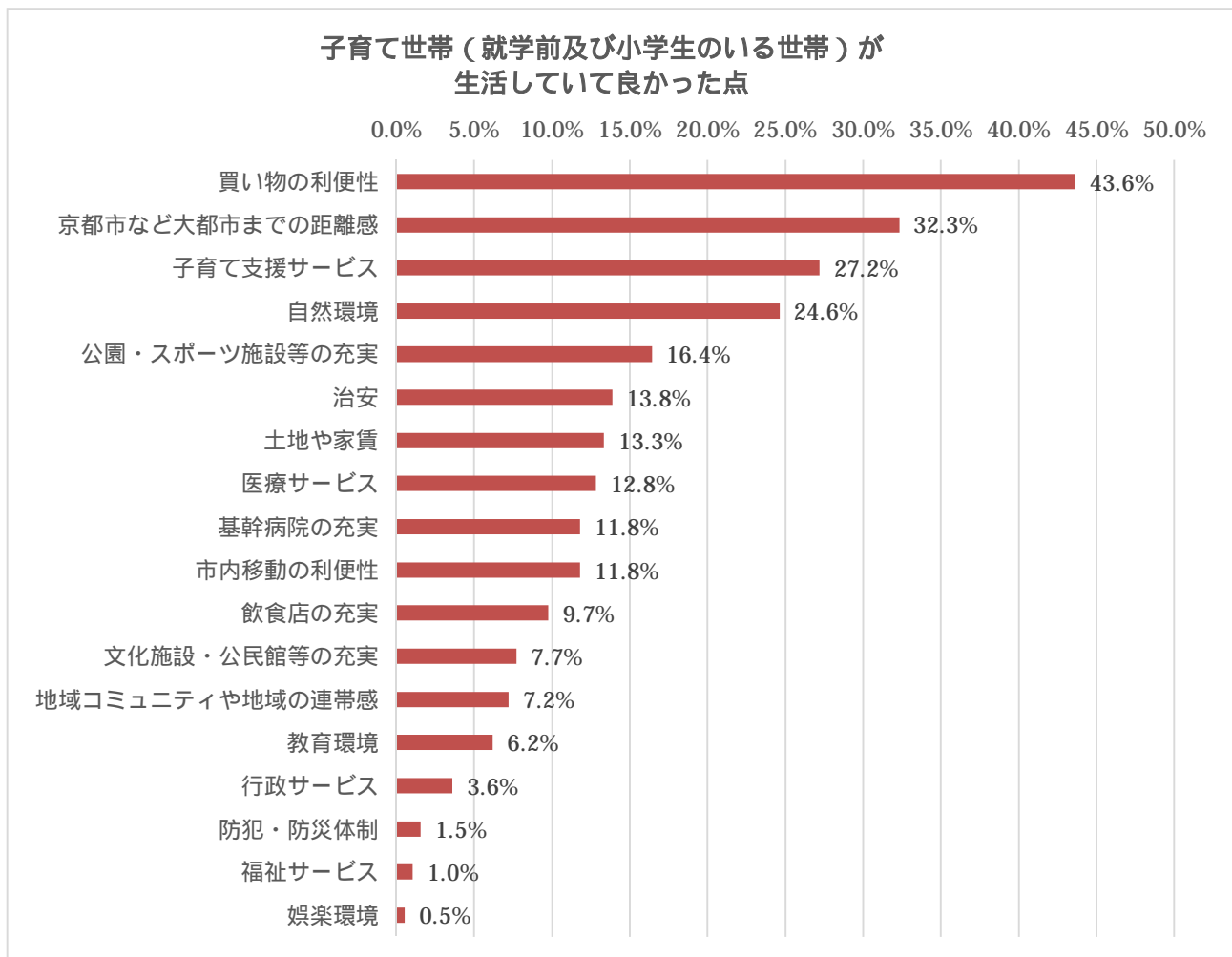
子育て世帯（就学前及び小学生のいる世帯）の転出者が宇治市で生活していて良かった点は「買い物の利便性」が最も多く、次いで「京都市など大都市までの距離感」「子育て支援サービス」の順であった。

一方、不満な点は、「市内移動の利便性」、「治安」が最も多く、次いで「飲食店の充実」であった。


(n=195・複数回答)

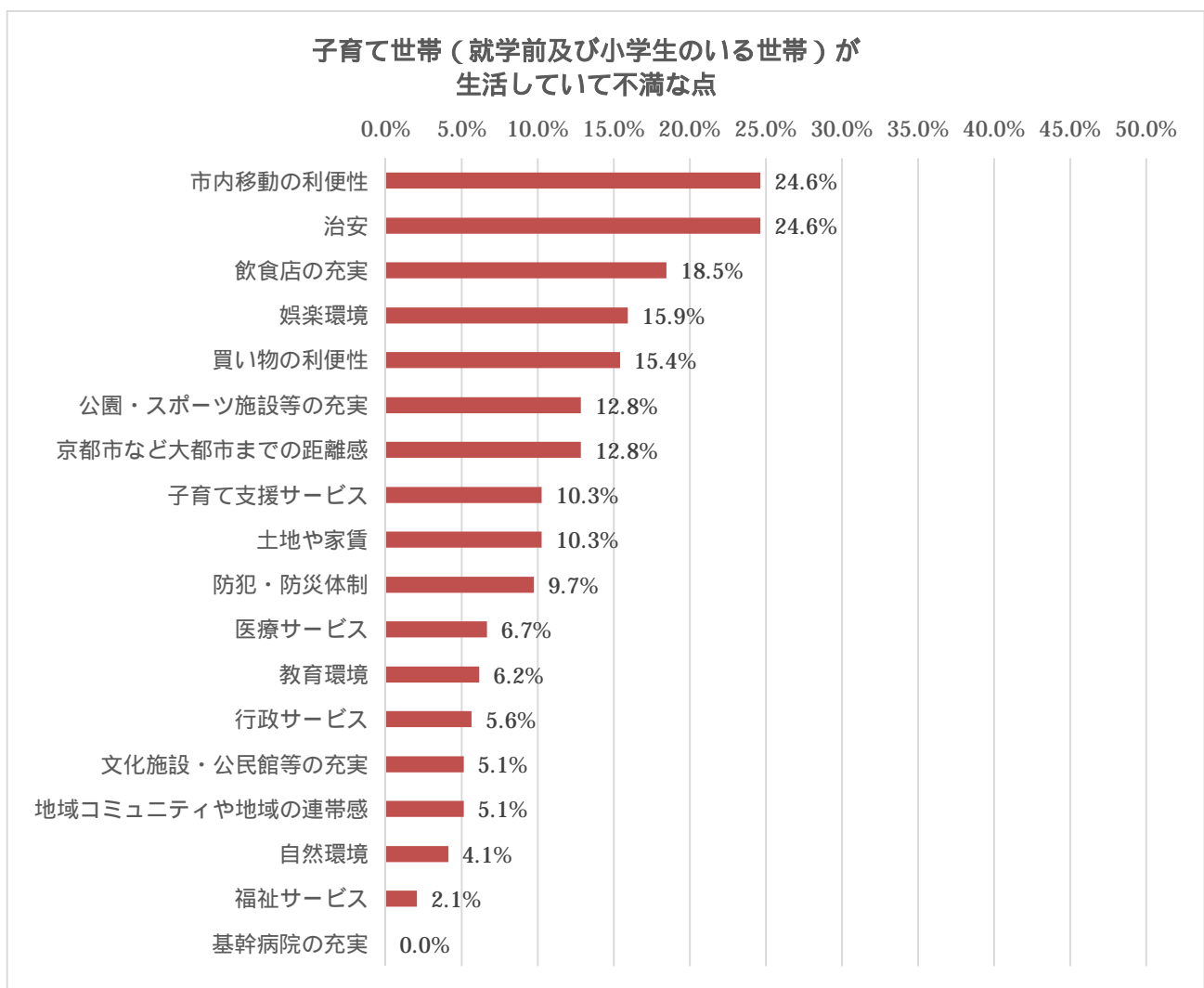
生活していて良かった点 転出者の年齢	買い物の利便性	飲食店の充実	子育て支援サービス	教育環境	基幹病院の充実	医療サービス	福祉サービス	行政サービス	公園・スポーツ施設等の充実	文化施設・公民館等の充実	娯楽環境	市内移動の利便性	京都市など大都市までの距離感	防犯・防災体制	治安	自然環境	地域コミュニティや地域の連帯感	土地や家賃	総計
子育て世帯 (就学前及び小学生のいる世帯)	85	19	53	12	23	25	2	7	32	15	1	23	63	3	27	48	14	26	478

 は、最も多い生活していて良かった点。



生活していて 不満な点 転出者の年齢	買い物の 利便性	飲食店の 充実	子育て 支援サービス	教育環境	基幹病院の 充実	医療サービス	福祉サービス	行政サービス	公園・ス ポーツ施設 等の充実	文化施設・ 公民館等 の充実	娯楽環境	市内移動 の利便性	京都市な ど大都市 までの距 離感	防犯・防 災体制	治安	自然環境	地域コ ミュニ ティや 地域の 連帯感	土地や 家賃	総計
子育て世帯 (就学前及び小学生の いる世帯)	30	36	20	12	0	13	4	11	25	10	31	48	25	19	48	8	10	20	370

 は、最も多い生活していて不満な点。



．まとめ

1．アンケート調査結果の分析

雇用

転出者の多くが「仕事の都合（就職・転職・退職など）」や「結婚・出産など世帯構成の変動」を転出のきっかけ・理由としています。なかでも転出先として多い京都市や大阪府については、転出のきっかけ・理由として「仕事の都合（就職・転職・退職など）」に加え、「電車・バスなどの交通の便が良い」も多いことから、職場までの距離や通勤の利便性が住まいを決めるうえで重要視されていることが推測されます。

なお、結婚や子育てなど自然増加を促していく要素において、安定した就労環境は重要な条件であることが、京都府の実施した少子化要因実態調査で確認されています。

住宅

城陽市、京田辺市、木津川市、精華町などへの転出で、転出後の住居形態は「持ち家（戸建て）」が多く、宇治市人口ビジョンでも推測しているとおり、住宅事情を理由とした京都府南部への子育て世帯の流出が考えられます。なお、現状では、今後本市での大規模な宅地開発は難しいと考えられます。

また、転出入のきっかけ・理由として、「親族との近居・同居」は、比較的高い割合となっていることから、結婚・出産などを機に、親族との近居や同居をされることが推測されます。

交通

転出者において、宇治市で生活していて不満な点で最も多かったのが「市内移動の利便性」で、24.7%の回答があった一方、良かった点としても14.7%の回答がありました。また、「京都市など大都市までの距離感」については、宇治市で生活していて良かった点で2番目に多く、37.1%の回答があった一方、不満な点としても11.7%の回答がありました。

これらのことから、生活や交通の環境については、年齢や居住地、生活スタイル等によって、差異があると推測できますが、詳細についてはさらなる調査・分析が必要であると考えられます。

子育て

転出入のきっかけ・理由として、「小学校就学前の子育て環境が良い」「学校の教育環境が良い」の割合は低くなっています。

一方で、転入者がまちづくりで期待することは「子育てしやすいまちづくり」が最も多く、子育て世帯への施策が期待されています。また、子育て世帯の転出者において、宇治市で生活していて良かった点として、「子育て支援サービス」の回答が27.2%あり、本市の子育て支援サービスは、一定評価されていることがわかります。

これらのことから、子育て支援サービスの充実は、転出入先を選ぶ理由という側面よりも、まちの魅力を高め、市民満足度の向上につながるものと推測されます。

2. 今後の地方創生施策の推進について

今回のアンケート調査では、地方創生のさらなる推進と今後の市政運営やまちづくりに活用するため、多くの転出者、転入者の方から転出入のきっかけや理由、本市のまちづくりに関する要望等のご意見・ご回答をいただき、その結果について集計・分析を行いました。

本市では平成27年12月に宇治市まち・ひと・しごと創生総合戦略を策定し、「確固たる宇治ブランドの確立」「市民の宇治への愛着の醸成と市民によるふるさと宇治の創生」「まちの魅力を高める都市基盤の整備」「地域経済の活力づくり」「若い世代の就労・結婚・出産・子育ての希望をかなえる環境づくり」の5つの基本目標に沿って、様々な施策について取組を進めています。

アンケート調査結果では、仕事の都合が転出入のきっかけ・理由となっているとともに、子育て支援サービスの充実が市民の満足度を高めることにつながると推測されることから、これまでの5つの基本目標に沿った施策の方向性は、人口減少の歯止めに向けた取組として適切なものとなっていると考えられます。

今後は、これまでの地方創生施策についての効果検証を行い、今回のアンケート調査の結果を踏まえ、さらなる安定した雇用創出や、空き家等の活用をはじめとした住宅施策、本市における公共交通体系づくりの検討とともに、引き続き、産業振興や切れ目のない総合的な子育て支援施策など、独創的な戦略や先駆性・実効性のある具体的な施策に取り組み、人口の流入促進と流出抑制の両側面から、人口減少に歯止めをかけ、少子高齢社会においても、持続的に発展するまちを目指し、本市の特色を十分活かした施策について、積極的に取り組んでいきます。

